

西鉄天神大牟田線 花畑駅付近連続立体交差・花畑駅



発注者：西日本鉄道株式会社
所在地：久留米市
種別：鉄道高架橋、高架駅舎
構造：鉄筋コンクリートラーメン高架橋
延長：約 2 km
幅員：9.4m
駅舎 延べ面積：4,475.19 m²
鉄道面積：6,562.93 m²
将来店舗：8,284.36 m²
延長：2面4線ホーム延長 200m
幅員：約 12～31m
階数・高さ：地上3階・17.42m
事業認可：1996年 3月11日
高架切替：2004年 10月17日
工期：1998年 9月～2006年 3月

西鉄花畑駅周辺地区は、久留米市の中心商業地東南部の一角に位置し、主要幹線道路沿いにあり、高い発展ポテンシャルの期待できる地区である。

本連立事業は、土地区画整理事業と共に進められており、鉄道で分断された東西両地区の交通体系・土地利用の一体化を図り、中心市街地と連担した新しい街づくりを目指すものである。既設久留米駅を起点として、延長約 2 km の鉄道高架化に伴い、花畑駅・試験場前駅の 2 駅が高架化された。

高架化は主として仮線方式が採られたが、広幅員の花畑駅は、西側 1 スパンが直上高架方式となる分割施工とされた。

花畑駅は 2 面 4 線の 10 連編成対応が可能な駅として計画されており、高架化に伴い特急停車駅となった。1・2 階に駐輪場、高架橋側面に屋根付連絡デッキを設け駅利用者の利便性の向上を図り、広い店舗スペースを設けることで駅周辺と一体化した商業活動の活性化を目指している。外観は耳納連山の山並みと筑後川の川波をモチーフに、明るく開放的なデザインとされた。駅周辺では新駅に呼応し駅前広場・側道整備が進められ、新しい都市空間が形成されつつある。